

効果	防風・散わら	景観美化	播種期			すき込み期 草丈 (生育日数)	利用例
			寒・高冷地	一般地	西南暖地		
	◎	1	5月～6月 8月下旬～9月上旬(年内利用)	3月～4月 10月中旬～11月上旬	2月～3月 10月下旬～11月中旬	開花初期 1m	土壌病害、サツマイモネコブセンチュウ対策に。
	◎	10～15	4月上旬～6月上旬 8月中旬～9月上旬	3月～5月 8月下旬～9月中旬 10月中旬～11月上旬	2月下旬～5月上旬 8月下旬～9月下旬 10月下旬～11月下旬	出穂前後 (播種50～60日前後)	ダイコン、ニンジン、ナガイモの線虫対策。 キャベツ、ハクサイの根こぶ病対策に。
		8～10	—	8月下旬～9月中旬	9月 9月下旬～10月上旬 離島(種子島等)	出穂前後	サツマイモネコブセンチュウ対策に、晩夏～冬の空畑を有効利用。 南九州など秋温暖地域では9月中旬～9月末の播種が望ましい。
	◎	間作5～8 すき込み8～10	4月上旬～6月上旬 8月中旬～9月上旬	3月～5月 8月下旬～9月中旬 10月中旬～11月上旬	2月下旬～5月上旬 8月下旬～9月下旬 10月下旬～11月下旬	出穂前後 0.5～1.0m	コンニャク、高原野菜の防風・散ワラに。
		6～8	—	8月下旬～9月上旬	8月下旬～9月上旬	穂すみ～出穂始	サツマイモの線虫対策。
		6～8	4月上旬～6月上旬 8月中旬～9月上旬	3月～5月 8月下旬～9月中旬 10月中旬～11月上旬	2月下旬～5月上旬 8月下旬～9月下旬 10月下旬～11月下旬	出穂前後 0.5～1.0m	有機物補給に。
	◎	6～8 10～15	3月下旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月中旬 9月下旬～12月上旬	1月下旬～4月中旬 10月～12月	穂すみ～出穂始	秋播きでキタネグサレセンチュウ対策に。 春播きで雑草管理や土壌流亡防止に。
	◎	6～8	3月下旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月中旬 9月下旬～12月上旬	1月下旬～4月中旬 10月～12月	出穂前後 0.5～1.2m	高原野菜や果樹類の散ワラに。 果樹園の草生栽培。
	◎	条播3～5	—	10月中旬～11月中旬	10月下旬～11月下旬	出穂～開花期 1.1～1.3m	野菜等の防風・防砂・敷糞利用。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆の前作緑肥。 寒太郎との混播利用でミツバチの蜜源として長期利用可。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	寒・高冷地での遊休地の雑草・地力対策。水稲、大豆の前作緑肥。
	○	3～5	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～11月上旬	2月中旬～3月下旬 9月下旬～11月下旬	適宜(播種60日後) 草生では自然枯死	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆の前作緑肥。
	◎	2～3	4月上旬～5月上旬 9月上旬～10月中旬	3月上旬～4月上旬 9月中旬～10月中旬	2月下旬～3月下旬 9月下旬～10月下旬	開花期	景観美化、ダイズシステムセンチュウ対策に。
	◎	3～4	8月中旬～9月上旬	9月上旬～10月上旬	9月中旬～10月下旬	田植え3週間前	水田前作緑肥、景観美化。
		4～5	9月上旬～10月中旬	9月下旬～10月下旬	10月上旬～11月中旬 2月下旬～3月中旬	出穂前後 0.7～1.0m	水田裏作緑肥。
	○	3～5	4月 9月中旬～10月上旬	3月中旬～4月上旬 9月中旬～10月下旬	3月 9月下旬～11月中旬	自然倒伏	果樹園の草生栽培に。
		条播4 散播5	6月中旬～7月中旬	5月下旬～7月下旬	5月上旬～8月中旬	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	水田や転換畑の土壌物理性・排水改善と地力向上に。
		3～5	6月上旬～7月上旬	5月中旬～7月中旬	5月中旬～7月下旬	1.0～1.5m (播種50～60日後)	水田転換畑や湿害が起きやすい圃場の有機物補給に。
		5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月上旬～8月中旬(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種60日前後)	ダイコン、ニンジンの線虫対策。
		5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月中旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月上旬～9月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	サツマイモネコブセンチュウ対策に。 ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有機物補給に。
	◎	散播4～5 防風利用条播1	5月下旬～7月下旬	5月中旬～8月上旬	5月～8月	1.0～1.5m (播種50～60日前後)	ドリフトガード、防風に。
		4～5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月～8月(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有機物補給に。
		4～5	5月下旬～7月下旬(露地) 5月～7月(ハウス)	5月中旬～8月上旬(露地) 5月～8月(ハウス)	5月～8月(露地) 5月～8月(ハウス)	1.5～2.0m (播種50～60日前後)	有機物補給に。
	◎	6～9	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月下旬～7月中旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.0～1.5m (播種80～90日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
	○	6～9	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月下旬～7月中旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.0～1.5m (播種60～80日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
	◎	6～8	7月(露地) 6月～7月(ハウス)	5月中旬～7月下旬	5月上旬～8月上旬 2月下旬～9月下旬 (沖繩・奄美諸島)	1.5m (播種50日後)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの各種線虫対策に。
		条播0.3～0.5 散播1～1.5	6月下旬～7月上旬	6月上旬～8月上旬	5月中旬～8月中旬	1.5m (播種50～70日後)	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの線虫対策に。
		条播0.3～0.5 散播1～1.5	6月下旬～7月上旬	6月上旬～8月上旬	5月中旬～8月中旬	1.5m (播種50～70日後)	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの線虫対策に。
	◎	条播1～1.5 散播1.5～2	5月下旬～6月中旬	5月中旬～7月上旬	4月中旬～8月上旬	開花期	短稈早生で景観美化に適する。
	◎	2～3	4月上旬～5月中旬	3月～4月 10月下旬～11月中旬	2月下旬～3月中旬 11月中旬～12月上旬	開花期	景観美化、土壌流亡防止。 長ネギの前作緑肥。
	◎	2～3	4月上旬～5月中旬	3月 11月	2月下旬～3月中旬 11月中旬～12月上旬	開花期	景観美化、遊休地対策にも。
	○	間作3～5 散播8～10	5月中旬～6月下旬	4月上旬～6月中旬	3月下旬～5月中旬	8月以降枯死	コンニャクの間作利用、ウリ類の下草利用、遊休地の雑草対策に。
	◎	2～3	9月	9月中旬～10月中旬	9月下旬～11月上旬	自然枯死	草生栽培 刈取り管理不用で省力化。
		1～2	—	5月中旬～7月中旬	3月中旬～9月下旬	0.7～0.9m 最短播種40日後	茶園・果樹園等でのリビングマルチ利用、畝間利用。
		4～5	—	5月下旬～7月中旬	5月～7月	0.4～0.5mで刈払い	ミカンなどの果樹園の草生栽培。
		5～10	4月～5月 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月中旬	2月下旬～4月上旬 10月上旬～11月上旬	出穂期で刈払い	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
		3～5	4月～5月 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月上旬	—	出穂期で刈払い	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
	○	2～3	4月中旬～5月下旬 8月下旬～9月下旬	3月中旬～4月下旬 9月下旬～10月中旬	2月下旬～4月上旬 10月上旬～11月上旬	適宜刈払い	果樹園の草生栽培。
	◎	0.2～0.5	6月	5月下旬～7月上旬	5月上旬～7月中旬	開花期 (定植後80～90日)	線虫対策と景観美化に(栽培日数として80日前後が必要)。
	○	20	8月中旬～9月上旬	8月下旬～9月中旬	—	永年使用	草生栽培、法面に。
		5～10	5月下旬～6月下旬	5月上旬～7月中旬	4月中旬～7月中旬	永年使用	果樹園の難作業場所に。

「PVPマーク」の説明 令和3年4月1日より、登録品種であることの表示が義務化されました。これに伴い「PVPマーク」が登録品種の表示として使用できるようになりました。品種登録された種苗の他、これらの種苗から得られた収穫物、政令で定める加工品に表示いたします。品種登録された植物新品種は知的財産権(育成者権)として保護されており、このマークのついている種苗を、育成者権者の承諾なしに業として利用(増殖、譲渡、輸出入)する行為は、損害賠償、刑事罰の対象になる場合があります *海外持出禁止(農林水産大臣公示有)